

事業実施状況報告書

団体名	特定非営利活動法人スノック
事業名称	未来を創るスタディーサークル
事業実施期間	令和5年4月20日～令和6年2月17日
1. 実施内容 (実績)	<p>(1) 実施した事業内容</p> <p>「未来を創るスタディーサークル」を枚方市内において9回開催した。「未来を創るスタディーサークル」はスウェーデンの生涯学習の場であるスタディーサークルを参考に運営しており、年齢・職業など多種多様なバックグラウンドを持つ市民が参加するコミュニティ活動である。学び合うテーマについては、参加者同士で「今何を学びたいと思っている」のか、また「何を学ぶ必要があるのか」について対話を深めながら決定した。また、決定したテーマについて理解を深めるために外部講師に3回参加を依頼した。また、スタディツアー等を実施した。</p>
	<p>(2) 対象者・参加者 (例: 枚方市内に住む小・中学生 32名 など具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方市 (近隣市在住者含む) 在住の市民全般 延べ55名 (運営スタッフ除く) (中学生・高校生・大学生・社会人・主婦など) ・身体的な障がいがあり、現地での参加が困難な参加者向けにオンラインでの参加体制も構築した。
	<p>(3) 実施体制 (事業を実施した人員体制や支援者や他団体との連携状況を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来を創るスタディーサークル」の運営スタッフ 各回2名前後 ・協力団体: Study Circles Japan (スタディーサークルの理念や運営方法のアドバイス) 暮らしの寺小屋 (スタディーサークルの運営方法等についてのアドバイス) 合同会社ソリトン One-J (スタディーサークルでの話題提供) 高等遊民会議 (スタディーサークルでの話題提供)
	<p>(4) スケジュール (事業開始から終了までのスケジュールを記入すること)</p> <p>第1回 令和5年4月23日 13:30～16:30 サプリ村野 参加人数7名 テーマ:「今年度のテーマ洗い出しなど」 概要: 今年度スタディーサークルでどのようなテーマについて取り組むべきか、参加者の方と共に協議した。</p> <p>第2回 令和5年6月10日 13:30～16:30 枚方総合文化芸術センター マルチスペース2 参加人数7名 テーマ:「市民から行政への働きかけについて」 概要:</p>

- ・枚方市駅前再整備の計画の概要について
- ・再整備について市民側としてどのような考え方や動きがあるかを知る
- ・近年「市民から行政への働きかけ」で成果をあげた枚方の例と方法論はどのようなものだったか

第3回 令和5年7月9日 13:30~16:30 枚方総合文化芸術センター マルチスペース2 参加人数6名

テーマ：新自由主義とコモン ～私たちのくらしはどうなるの？

概要：新自由主義の理解を通じて、このスタディーサークルのテーマである「みんなの幸せ」について考えた

第4回 令和5年8月20日 13:30~16:30 枚方総合文化芸術センター マルチスペース2 参加人数18名(内オンライン1名)

テーマ：こんな時代だからこそ「足るを知る」について考える

概要：ソリトン One-J .llc 代表社員 CEO 塩井 淳子氏に話題提供者として参加してもらい、「足るを知る」ということへの理解を通じて、「本当の豊かさ」とは何かということについて考えた。

第5回 令和5年10月14日 14:00~17:00 枚方総合文化芸術センター マルチスペース2 参加人数14名(内オンライン1名)

テーマ：私たちはなぜ「未来への不安」に囚われてしまうのか

概要：杉原学さん（高等遊民会議世話人）に話題提供を頂きながら、私たちはなぜ「未来への不安」に囚われてしまい、「今を生きる」ということができないのかということについて考えた。

第6回 令和5年11月18日 10:30~14:30 ヘブンリーガーデン尊延寺 3丁目13-11 参加人数12名

テーマ：「本当の豊かさ」「足るを知る」スタディーツアー

概要：第4回のお話提供者である塩井 淳子氏のヘブンリーガーデンを訪問し、自給自足的な生活や、自然と調和した里山的な生活を実感することで、「本当の豊かさ」「足るを知る」ということについて考えた。

第7回 令和5年12月24日 10:00~12:00 枚方総合文化芸術センター マルチスペース2 参加人数6名

テーマ：今年のテーマを踏まえて次回以降のテーマの洗い出し

概要：今までのスタディーサークルを通じて、さらにどのようなことを私たちが学ぶ必要があるのかについて、意見交換を実施した。

第8回 令和6年1月28日 13:30~16:30 枚方総合文化芸術センター マルチスペース2 参加人数7名(内オンライン2名)

テーマ：良質なコミュニティとは？

概要：私たちににとって本当に「コミュニティ」は必要なのか？「コミュニティ」は私たちに何をもちやす可能性があるのか？またそのようなコミュニティにはどういった共通点があるのか？といったことを考えた。

第9回 令和6年2月17日 13:30~16:30 枚方総合文化芸術センター マルチスペース2 参加人数：7名(内オンライン1名)

テーマ：：社会とは？コミュニティとは？

概要：良い社会とは？良いコミュニティとは？ということについて意見交換を実施した。良い社会を作っていくためには、個人の利害を超えた「共通善」を社会全体で共有し、そ

様式第 14 号 / 枚方市 N P O 活動応援基金

	<p>れを実践していくことが大切だということを理解した。</p> <p>※上記参加者は運営スタッフ含む</p>
<p>2. 広報周知の方法 (実 績)</p>	<p>(事業周知の方法を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当法人ホームページ ・FACEBOOK、INSTAGRAM、activo 等での告知 ・ひらせんナビ
<p>3. 事業実施による効果</p>	<p>(1) 事業実施により得られたと考えられる効果</p> <p>「未来を創るスタディーサークル」の参加者同士が対話を続けることで、自分達が生活する枚方市にこれからどのようなモノ・コトが必要なのかという議論が熟成された。また、議論を通じて他者との学び合いが繰り返される中で、地域課題や政治への関心が高まり、参加者自身が自発的に社会参加に取り組むきっかけが作れた。今年度のスタディーサークルに継続的に参加していた市民より、新しくコミュニティ活動を立ち上げたいという意向があり、現在立ち上げに向け準備中である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民同士が多様な他者との対話を継続し繋がることで、自分自身の利益だけではない社会全体へとそれぞれの関心が広がっていくという効果があった。私たちが生きるコミュニティを良いものにするためにはどのような市民活動が必要であるかということ、参加者それぞれが内省し、普段の生活で生かしていくことで、市民自らが社会の主體的な構成員であるという民主主義的な風土の育成に寄与した。 <p>(2) 効果の確認方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当法人では滋賀県東近江市においてもスタディーサークルを運営しており、そちらのスタディーサークルでは参加者との意見交換の中で、不登校の子供たちやその親を支援するための子ども食堂が新規に立ち上げられた。スタディーサークルという「都市型のコミュニティ」を継続して開催することで、直接的に社会貢献活動を実施したいと考える市民が増加することを実感している。また、上記の子ども食堂の運営メンバーと枚方のスタディーサークル参加者の間の有機的なネットワークが形成されてきており、活発な意見交換がなされており、枚方の参加においても子ども食堂の開催を検討している市民が生まれつつある。 ・「未来を創るスタディーサークル」では、参加者同士が意見交換できる LINE グループを運営している。LINE グループでは現在 16 名が参加しており、日々様々な情報提供や意見交換が継続的になされている。また、グループ内で市民参加型のイベントの紹介等も頻繁になされており、メンバー同士が連れ立ってイベントへ参加する姿も多々見受けられ、市民同士の水平的なネットワーク構築に寄与していると感じる。参加者同士が継続して粘り強く対話を継続することで、家族や職場以外での人間関係の熟成が広がっている。

様式第 14 号／枚方市NPO活動応援基金

4 . そ の 他	今年度は肢体不自由の方から問い合わせがあり、ぜひスタディーサークルに参加したいという要望を頂いた。会場への参加が困難ということもあり、オンラインソフト ZOOM を使用して参加できるような体制の構築を実施した。肢体不自由な方がスタディーサークルに参加することにより、新しい視点でのディスカッションを実施することができた。
-----------	--

事業収支決算書

団体名	特定非営利活動法人スノック
補助対象事業の名称	未来を創るスタディーサークル
事業実施期間	令和5年4月20日～令和6年2月17日

【収入の部】

項目※1	予算額(円)	決算額(円)	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般)(A)	177,000	90,135	補助金交付申請額(一般寄附)
枚方市補助金(団体希望寄附)(B)			補助金額(団体希望寄附)
自己資金	24,400	15,176	
合計(C)	201,400	105,311	

【支出の部】

項目	予算額(円)	決算額(円)	内容説明(積算根拠等)	
補助対象経費	開催会場賃借料	18,400	18,000 2,300円×6回、2,500円×1回、1700円×1回 (枚方総合文化芸術センターマルチスペース1、2、ヘブンリーガーデン)	
	謝金(講師)	20,000	15,000	塩井淳子氏 2回(10,000円、5,000円)
	旅費交通費	65,600	20,000	イベント当日スタッフ分 20,000円
	消耗品費	15,000	9,672	マジック、封筒、ノート、タイマー、電池、その他
	印刷製本費	20,000	11,330	スタディーサークルで使用する資料印刷・コピー代
	通信費	38,400	16,133	ZOOM使用料 6カ月分(1カ月/15.99\$)
小計(E)	177,400	90,135		
補助対象外経費	食糧費	24,000	15,176	スタディーサークルでの茶菓子代 8回分
小計	24,000	15,176		
合計(D)	201,400	105,311		

- ・【項目】【予算額】は事業収支予算書と相違の無いようにしてください。
- ・収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。
- ・枚方市補助金(一般)(A)と枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を合わせて申請する場合は、補助対象経費から枚方市補助金(団体希望寄附)(B)を除いた額に対する枚方市補助金(一般)(A)。